

変わる朝鮮半島！ 日本の平和運動を問う

朝鮮半島の非核化と平和構築に向けて歴史的変化が起きている。この千載一遇の機会を活かすためには、日米韓の市民社会が果たす役割が重要である。こうした問題意識の下で、気鋭のジャーナリストの講演を軸に、今日の情勢における日本の平和運動のあり方について考える。

2019年

2.17

(日)

14:00~16:00

(開場: 13:30)

川崎市平和館 屋内広場

(川崎市中原区木月住吉町33-1)



記念講演

太田 昌克氏

共同通信社編集委員、長崎大学客員教授

1968年富山県生まれ。ジャーナリスト、共同通信社編集委員(論説委員兼務)。早稲田大学客員教授、長崎大学客員教授。博士(政策研究)。共同通信社広島支局、外信部、政治部、ワシントン支局などを経て現職。2006年度ボーン・上田記念国際記者賞、2009年度平和・協同ジャーナリスト基金賞(大賞)を受賞。主著に『日米<核>同盟』(岩波新書)『偽装の被爆国』(岩波書店)。テレビ朝日「ワイド!スクランブル」でレギュラーコメンテーター(火曜)を務めるほか、テレビ朝日「羽鳥慎一モーニングショー」、TBS「サンデーモーニング」などにコメンテーターとして出演。

資料代 500円

事前申込み不要。どなたでも参加できます。

同日10:30から同じ会場でピースデポ第20 総会を開催します。

川崎市平和館
へのアクセス

東急線・JR南武線
JR横須賀線
「武蔵小杉駅」徒歩約10分

主催:

ピースデポ
平和資料協同組合

〒223-0062 横浜市港北区日吉本町1-30-27-4
日吉グリュエネ1F
TEL: 045-563-5101 / FAX: 045-563-9907
E-mail: office@peacedepot.org

